

京都舞鶴港魅力発見フォーラム 結果概要

1 日時：平成29年11月27日（月）午後1時30分～3時30分

2 場所：舞鶴市商工観光センター 5階コンベンションホール

3 参加者：約100名

4 内容

(1) 「京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーマスタープランの方向性」

京都大学大学院経済学研究科 特任教授 内藤 克彦 氏

（京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーマスタープラン検討会議 座長）

(2) 「京都舞鶴港の現状」

京都府港湾局 酒井局長

(3) パネルディスカッション

「京都舞鶴港におけるエネルギーイノベーションの創出と地域活性化」

～エネルギーの地産地消やIoTを活用したエネルギー・観光・港湾分野にわたる京都舞鶴港の地域活性化をテーマに先進事例紹介と意見交換～

パネリスト

株式会社洗陽電機エネルギートレードグループ 需給管理部 部長 白川 勝也 氏

株式会社WAKUWAKU やまのうち 代表取締役社長 岡 嘉紀 氏

輪島商工会議所 専務理事 坂下 利久 氏

福知山公立大学 教授 篠原 正人 氏

（京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーマスタープラン検討会議 委員）

コーディネーター 内藤 克彦 氏

<まとめ>

- ▶ 周辺地域の関連施策と連携を図りながら、将来の舞鶴港の理想を描いたモデル・プランづくりしていくことが大事。
- ▶ 世代間を超えた協議の場を地元の人とつくりあげていくことが重要。
- ▶ エコ・エネルギー港湾への動きは世界的な流れ。この機会にエネルギーをテーマにした京都舞鶴港のマスタープランを策定することは非常に有意義。

5 会場参加者との主なやりとり

- ▶ データプラットフォームの運用における地元連携について
- ▶ バイオマス発電事業に係る経済循環について
- ▶ エネルギーの地産地消を進めるメリットについて

以上